
＜三重県＞（種別：学校）四日市市立保々中学校

推薦理由

該当校は、田園が広がる農村的な地域と、団地や大型ショッピングモール、新名神高速道路等の開発が進む地域を合わせ持つ、四日市市の北西部に位置している。学校目標を「心身ともにたくましく豊かな人間性と実践力を持った生徒の育成」として、地域の学校等と連携して自尊感情やコミュニケーション能力、最後まで粘り強く取り組む力などを培うことで、『今』を未来につなげられる子をめざして』をスローガンとし、自己実現できる児童生徒を育成している。

1. 「保々地区18年間（社会への）育ちのプログラム」に沿った児童生徒の育成

該当校区の保々地区では、平成20（2008）年、地区内の保育園、幼稚園（現在はこども園）、小学校、中学校及び周辺の高等学校、地域の人権団体が連携し、自己実現できる児童生徒の育成をめざした「保々地区18年間（社会への）育ちのプログラム」を作成した。このプログラムでは、将来につけたい力を「豊かな感性」、「やり切る態度」、「生きぬく基礎」の3つの柱に整理し、それらを育成するための6つの視点「だいすき」、「つながる」、「じっくり」、「やってみる」、「すこやか」、「まなぶ」を設定したうえで、就学前から高等学校卒業までの発達段階に応じて6つのステージ別にめざす子どもの姿を具体的に示している。

該当校では、平成21年（2009）年度から「保々地区18年間（社会への）育ちのプログラム」に沿って生徒を育成するために、教育活動を再整理した「学校づくりビジョン」を策定し、重点目標を定め各年度ごとに改善しながら、学校全体で取り組んでいる。また、「特別活動」や「総合的な学習の時間」では、地域事業所の協力を得た職場体験学習や職業人の講話などを通じて「働くこと」「自分を知ること」「マナーを身につけること」について学習している。生徒は、将来就きたい職業について発表会を行い、3つの柱・6つの視点に沿って自身の年間目標を立て、キャリア・パスポートを活用しながら、自分の現在と将来を見つめなおす学習を行っている。

2. 「学校づくりビジョン」に沿った具体的な取組

「豊かな感性」の柱では、「人を大切にし、気持ちよくあいさつする生徒を育てます」を重点目標とし、すべての生徒が教職員から1日のうち1度はあいさつ等共感的姿勢による声かけを受けられるようにしたり、日常の生活や行事等で、生徒同士で感謝の気持ちを伝えあう「ありがとうメッセージ」に取り組んだりしている。このような取組を通じて、自分に自信を持ち、さまざまな出会いの中から仲間とともにつながる力を育成している。

「やり切る態度」の柱では、「ていねいに掃除や身の回りの整理・整頓に取り組む生徒を育てます」を重点目標とし、掃除や整理、整頓の指導を継続的に行うとともに、生徒同士で取り組んだことを認め合う「がんばってるねメッセージ」の実践や、日常生活のさまざまな場面で、人のために当たり前のことを当たり前に行えるよう指導を継続している。

「生きぬく基礎」の柱では、「時間や期限を守り、授業を大切にしている生徒を育てます」を重点目標とし、授業の始まりと終わりを大切に、宿題や自主勉強ノートの指導（点検・評価）を継続的に行ったり、生徒自身が自分の生活を振り返り、自分自身を向上させる指導を通じて、健やかに生きていくための健全な心身の発達と生きる力の基礎を育てている。

3. 系統的なキャリア教育推進のための異なる校種との連携

地域のこども園、小学校、高等学校、人権団体と合同で開催する教職員の研修会で、異校種の授業参観を通じて「保々地区18年間（社会への）育ちのプログラム」を活用して、ステージ別のつけたい力が個々の幼児・児童・生徒につけられているかどうかを振り返ることで、地域の学校が一体となった子どもたちの育成に努めている。